

市民と市長のタウンミーティング（要旨の報告）

日 時：令和8年7月4日（土） 15時00分～16時45分

場 所：シリウス603中会議室

テ ー マ：市政全般

参加人数：10人

出席者：古谷田市長、マーケティング課長、広聴・マーケティング係4名

タウンミーティングの概要、昨年度の意見に対するフィードバックを説明後、参加者から意見聴取。

【意見】

- ・ まず、2月に財政健全化に関するタウンミーティングに参加したが、その後の成果と、現在、市の財政対策としてどんな取組を行っていて、どのくらいの黒字等を見込んでいるのか。
- ・ 次に、私は、2024年度から大和市議会や市長に対して、何度も子どもの権利について伝えてきた。
- ・ 大和市には子どもが社会の一員として、自分に関わることを大人と一緒に話しながら決めていく仕組みがほとんどない。
- ・ 一方で、昨年行われた「こどもタウンミーティング」では、私たちが出した意見に対して、手紙でフィードバックを返してもらった。
- ・ その対応は誠実であったが、違和感もあった。
- ・ もしかして大人は、子どもの意見を聴いて、後で郵送回答することが対話だと思っているのではないか。
- ・ フィードバックの郵送は、子どもからすると対話ではない。
- ・ なぜなら、手紙が送られてきたときには、大人側の結論は決まっていて、その結果を受け取るだけだったからである。
- ・ もし、本当の対話をするのであれば、子どもが意見を言った後に、大人が考えている大和市の財政の問題などを子どもに共有して、どうしたら実現できるかを一緒に話し合うことができたはずである。
- ・ できない理由を説明して終わるのと、一緒に考え続けることは違うと思う。
- ・ 子どもの権利の本質は、子どもが言ったことすべてを実現しなければならないのではなく、子どもが自分たちに関わる社会のルールやシステムについて、大人と対話しながら、一緒に考えていくことである。
- ・ そこで伺うが、そういう仕組みを作ることは、お金や時間がたくさんかかるわけではないと思うがどうか。
- ・ 大和市には子育てをするための相談窓口があるし、子どもが困ったときに相談できる窓口もたくさんあり、子どもを守る制度はあると思う。
- ・ しかし、子どもが大人と対話しながら、一緒に相談できる窓口はないと思う。
- ・ 私は後5年で子どもではなくなるが、行政で難しいのであれば、日本財団の

ようなところに相談して、大和市に子ども協議会のようなものを作っていることを考えている。

- ・ 本来、そこまで大きなお金がかからない制度のために、子ども自身が外部にお金を集めに行かなければならない状況そのものに、少し違和感がある。
- ・ 本日は、大人がどう考えているのか、聞かせてほしいと思っている。

【市長】

- ・ 「こどもタウンミーティング」での意見は、市政の参考とし、子ども達が子ども達の目線で考える問題を真摯に受け止め、フィードバックをさせていたいただいた。
- ・ 今、言われたこともごもっともである。
- ・ 子どもの意見をどう政策に繋げていくのか、今、まさに世界でも、「子どもの権利」で子どもが発言できる場となっており、これから環境を整備していくということを、大和市も行っている状況である。
- ・ 今はまだ、追いついていないという状況である。
- ・ 子どもの思った意見をどう吸い上げて政策に繋げていくかということは、まさに指摘されたとおり、まだ積み上げていないところがあり、国や県にも市からも発信していきたいと思うし、そういった意見が活かして、子ども達がよりよい人生のために、乗り越える力を育み、自立できるようにしていきたいと思うし、私ももっと改善していきたいと思うが、もう少し時間はかかる。
- ・ 子どもが子どもの目線で捉えた価値観は重要だと思う。
- ・ ただ、子どもは、まだ、未熟な部分もあると思う。
- ・ その判断での、どうやって捉えたらよいかというところでは、18歳まで待って、ある程度、知識と経験を踏まえて、人と人との触れ合いを通じて、仲間といろいろなことを経験しながら、その中で自分の想いを固めていくことも大事である。
- ・ そういったことを含めると、子どもの今の年代で感じている素直な意見と、ある程度の形になってから発意していくという形を、国・県とも話し合って決めていかなければならない。
- ・ 今、子どもの権利を国が制定して動き始めているので、もう少し、データを積み上げ、検証し、専門家のアカデミックな意見や現場の声も聴いて、積み上げて、政策に繋げる形を作っていきたいと思う。
- ・ 子どもの意見は吸い上げていきたいと思うので、もう少し時間をいただきたい。

【意見】

- ・ ストリートピアノの件（2月に財政健全化に関するタウンミーティングで提案）はどうなったか。

【市長】

- ・ 今年2月、「財政健全化」タウンミーティング時に、ストリートピアノを置いてはどうかという旨の意見をいただいた。

- ・ 音楽は人の心を穏やかにもするし、感性も育む。
- ・ 意見を受けて、市の職員と話し合った。
- ・ 2 か所候補がある。
- ・ まず、大和駅のガード下に置くことについてどうかということだが、そのエリアは鉄道会社の許可が必要となる。また、置いた時の責任の所在や、設置にあたり建物を作るのかとか、いたずらされないよう人が24時間常駐するのかなども考える必要がある。
- ・ もう一つ、市役所入口に「だれでも広場」があるが、そこに置いてもよいかなと思う。
- ・ 初めは、手続きで待たれているかたもいて、市役所の中でもよいかと思ったが、ピアノの音がいやだという人や体調がすぐれない中で来ている人がいるかもしれない、色々な人がいるということで、合意が得られなかった。
- ・ 最近「だれでも広場」に音楽家のかたが集まって、演奏をされている。
- ・ ピアノを置いて、皆が自由に弾けたらということを今検討している。
- ・ ストリートピアノはやってみたいと思うので、もう少し待ってもらいたい。

【意見】

- ・ 中央林間自然の森は、高齢のかたやご家族連れなど、いろんな層のかたが散策し楽しんでおり、とてもいいところだと思っている。
- ・ 森の保全活動にも参加している。
- ・ しかしながら、その森が、ほぼ私有地で、市の所有はほんの一部だと聞いて、まちが変わっていく中、森がどうなっていくのかとても心配で、一度市長に尋ねてみようと思い参加した。

【市長】

- ・ 大和市の大きな考え方として、自然は大事だと思っている。
- ・ ただ、大和市は都市型であり、自然は手付かずで何もしないと、ごみや産業廃棄物を捨てられたり、うっそうとして死角ができて犯罪や事故が増えたりしてしまうので、手を入れていくことによる人と自然との共生を考えている。
- ・ 手付かずの自然は無責任なイメージがあり、人の手を入れることで、人が心地よいと思う自然との共生が生まれる。
- ・ 中央林間自然の森が手付かずの状態であれば、人の手を入れながら、散策路や休憩できる場所を整備しながら、人も心地よく、歩いていて幸せになるような形に持っていきたい。
- ・ 今、どのように人と自然が共生できるかを考えており、財源の確保も必要となる。
- ・ 企業が賛同してくれて、地域貢献でやっていただけたらとか、例えば半分は森、半分は手を入れて人が住める形をつくっていくなど、人が幸せを感じるような自然をしっかりと残しつつ、地主や地権者の意見を聴きながら、決して乱開発ではなく、いい自然は残していきたい。

【意見】

- ・ ずっと卓球をやっているが、スポーツセンターの駐車場が有料になったことに対し頭にきている。
- ・ 駅前の駐車場に停めないで、スポーツセンターの駐車場に勝手に停めてどこかに行ってしまう人がいるとは聞いたが、それはお金を取ればいいと思う。
- ・ 有料になるのは仕方がないと思うが、例えば夜18時から21時まで卓球をやって、市民利用料の250円はもちろん払うが、駐車場代が700円、800円とかかる。
- ・ 今まで駐車場が無料だったのもあるが、いきなり800円かかるようになり、一度行くと1000円かかるようになった。
- ・ 電車、徒歩、乗り合いなど工夫してやっているが、利用者に対して、受付で手続きすることにより利用者割引があって、1回200円くらいならよいと思うが、それを実施してもらえないかと思っている。

【市長】

- ・ スポーツは健康に欠かせないものと思っており、人と人との交流も生まれる。
- ・ だからこそスポーツをできる環境を整えていきたいというのがある。
- ・ 今の意見は真摯に受け止め考えるが、一方で、シリュスの駐車場は1日の上限が1000円であり、なぜ文化系はお金を取られるのにスポーツは無料なのか、スポーツの優遇で市民に平等ではないと指摘される。
- ・ スポーツセンターは1回も使ったことはないが、使わない人も含めた皆の税金で運営されているため、利用者優遇と指摘される。
- ・ 日本舞踊など文化活動をするかたが、コミュニティセンターを使用されると、駐車場が完備されていないので有料の駐車場を使うしかないため、スポーツだけというのはおかしいとなる。
- ・ ゆとりの森の駐車場は有料である。
- ・ 受益者負担の観点から、今回スポーツセンター駐車場の有料化に踏み切った。
- ・ ただ、料金の1日上限が1000円というのが、民間より安くなり民業圧迫にならないよう、一番高いところに合わせている。
- ・ 2時間だと400円かかる。
- ・ 近隣他市を見ると、2時間で100円、200円というところが多い。
- ・ 大和市はトレーニングルームで200円払い、2時間トレーニングすると、駐車場代とあわせて600円かかる。
- ・ 市長への手紙でも多いが、1回600円かかると、年金生活で健康維持のために行っているのに、行けなくなると。
- ・ 高齢だから、中々歩いては行けないが、なんとか健康を維持して、医療費、介護費をかからないようにするために行っているのに、それをやめさせる気なのかと、結構な数のかたから指摘される。
- ・ そのことは職員とも共有している。
- ・ 今財政が苦しいということだけでなく将来を見据えたら、運動して健康でいていただくことは、医療・介護の予算を抑える面からも一番よいことである。

- ・ 先を見据えたら下げるべきではないかということもあり、一度料金は決めているので、下げるには下げるためのエビデンスが必要であり、しっかりとしたデータを取り、見直しはしていきたい。
- ・ 利用者割引ということも考えている。
- ・ 料金を下げるには議会の議決も必要となり、この場でどうするとは言えないが、将来を見据えると下げるべきだとは思っており、市民の声がたくさんあることも承知しているので、検討はしていきたい。

【意見】

- ・ 2つあり、1つ目は保育料の多子世帯への支援について。
- ・ 現在大和市で3人の子ども（小学2年生と4歳児と0歳児）を育てている。
- ・ 来年の春、第3子の保育園入園を考えたとき、保育料の制度を改めて見返したところ、上の子は既に小学生なので、第3子は制度上、第2子として扱われてしまう。
- ・ 3人の子どもを育てているという実態と制度上の扱いに、少し違和感がある。
- ・ このことは私だけの話ではなく、仕事、育児、不妊治療や家族の事情など、様々な理由で兄弟姉妹の年齢差が開くことが多くあると思う。
- ・ 一方で大和市では、少子化対策など、女性の活躍を推進している。
- ・ 働きながら子どもを育てるということを応援されている一方で、キャリアを継続した結果、子どもの年齢差が開いた家庭ほど、この支援を受けにくくなるのであれば、現在の子育て世代の実態と制度との間に少しギャップを感じる。
- ・ 県内でも兄弟姉妹の年齢に関わらず、出生順位を考慮した多子世帯支援を行っている自治体もあるので、検討いただけると嬉しい。
- ・ 我が家を特別扱いしてほしいわけではなく、これから2人目、3人目を考える世代が、働きながらも安心して大和市で子どもを育てていきたいと思えるようなまちであってほしい。
- ・ 大和市として、出生順位を踏まえた多子世帯支援や市独自の子育て支援について、今後検討する考えはあるか。
- ・ もう1つは、読売新聞に掲載があった、育休中の学童保育の退所について、多くの自治体で、本当は利用可能であるのに退所させているという報道があった。
- ・ そこについての運用見直しはどうか。

【市長】

- ・ 第3子が生まれて、第1子が小学校に上がるとカウントから外されるのはどうなのかと思っている。
- ・ 小学校に行くと食べ物や習い事も増えて、お金がかかる。
- ・ このことは今日だけでなく、地域の集まりに行った際などでも言われている。
- ・ 子どもは宝だと国が言っているのに、第1子がカウントから外されるのはおかしいと思っており、なんとかできないかと言っている。

- ・ 現在、国が定める保育料の基準から概ね30%の軽減などを行ってはいるが、私としても検討が必要と考え、第3子までを対象とした場合を試算したところ、月1千万円、年間1億2千万円を超える財源が必要との結果であった。
- ・ これは毎年必要となる財源であり、その財源をどこから生み出すかというところで、今一生懸命検討しているところで、それに見合う財源を探している。
- ・ 今、いろんなところが有料化になっているのは、こういったところもある。
- ・ 今、国が「こども誰でも通園制度」ということで、こども家庭庁が何兆円も集めている。
- ・ この財源として、社会保険料からも上乗せして徴収される。
- ・ 本来は国が現場の声をしっかり受け止め、多子世帯支援の制度環境を作ってくれるとよいが、やるとは言えないが、なんとか子育てしやすい環境を作りたいので、所管部署と一丸となって財源を生み出せるように、頑張っている最中である。
- ・ なんとかしたいとは思っているので、もう少し待っていただきたい。
- ・ 東京都は財源があり、支援を行えている。
- ・ 東京都があれだけ税収（財源）があるのはなぜかというと、企業の本社が東京都にあるからであり、本社の登記があるから税収が全部そちらに集まる。
- ・ 周りの県の工場、研究所などで、地方が頑張って稼いだお金が、本社がある東京都に集まる。
- ・ そして東京都は給食の無料化、保育料の無料化などを実施している。
- ・ 本来、一生懸命働いている県民のところにいくべきである。
- ・ 第3子になったら外されるのは違うと思っていて、子育てしやすい環境を、なんとか大和市もそれに向けて議論は始めているので、検討していきたい。
- ・ 児童クラブは、4年生から6年生も受け入れになったことにより、待機児童が出てしまっていて、保護者が働きにくくなっている。
- ・ その改善に向け頑張っているが、子どもの居場所づくりも、今、学校と行政、地域のかたがたと話し合って、エンジョイスポーツも始めた。
- ・ コミュニティスクールも始まる。
- ・ 児童クラブだけでなく、子どもの居場所を増やして、少しでも保護者が安心して働ける形をとりたい。
- ・ 地域で子どもを育てるという形に少しずつ移行していこうと思っている。
- ・ エンジョイスポーツはその一環で、子ども達がいろいろなスポーツをできる環境を整えている。
- ・ スポーツだけでなく、音楽とか芸術とかも、地域に教えたいというかたはたくさんいるので、学校だけでなく、スポーツ施設や文化施設が使えて、そこに地域のかたが教えに来て、そこで子どもが過ごせる環境が作れたらよいと思っている。
- ・ 児童クラブの枠を超えた形をとっていきたいと思っている。
- ・ 児童クラブについても、料金は上げたが力を入れていきたい。

【意見】

- ・ 2つあり、1つは、中学校の部活が、教員の働き方改革によりなくなると言われており、子どもたちとの接触の機会が減っていくのではと思っている。
- ・ 大和市では、どのような対策を考えているのか。
- ・ もう1つは、日本の愛国心教育というものが、学校ではあまりやられていないと思うが、大和市では郷土愛とか歴史教育とか愛国心を養うとか神話教育とか、その辺の教育的なものは、どのような形で行われているのか。

【市長】

- ・ 私は運動・スポーツは大事なものだと考えており、仲間と目標を持って努力をするし、礼節も覚えるし、戦った仲間を敬うし、ルールを守ってやるというところで、人間形成は大事であるので、部活動、文科系も含めて、大和市は力を入れていきたいと思っている。
- ・ 今、エンジョイスportsをやっているが、大和市には外遊び条例もある。
- ・ ゲームばかりでなく、脳神経が特に発達する時期に、実際に運動して、子どもたちが体を動かすことをしっかり教えないといけないと思っているので、そういったことが地域でできればと。
- ・ 今、大和市では中学生の部活は盛んで、学校の先生はやりたがらないとの報道もあるが、やりたいという先生も多く、中学校の部活の加入率は7割を超えて、8割近い。
- ・ クラブチームを入れると9割近い。
- ・ 中学校でそういう状況なので、小学校であれば、もっとやりたい子がいるのではないかと。
- ・ 家庭環境や自分の性格の問題で、中々できないということがあれば、手軽にできるという環境を作りたくて、今、エンジョイスportsや、その先の形や、ジュニアスポーツの育成も考えているので、そういったことはしっかりやっていきたい。
- ・ エンジョイスportsは、地域のかたに入っていただき、いろいろ教えていただければと思うので、ぜひ協力いただきたい。
- ・ 愛国心、郷土愛について、子どもたちには、日本の良さは伝えていきたい。
- ・ 「シュリーマン旅行記」には、江戸時代の日本を見て、困っている人を助けたり、行動に幸せを感じられる民族であることを高く評価する旨が書かれている。
- ・ 人と人が繋がり助け合うことに喜びを感じるということ、今の日本に失われたものは伝えていかなければならないと思う。
- ・ 日本を愛し、郷土愛を持つことは、大和市の子どもたちにも伝えていきたい。

【意見】

- ・ 高齢者であり歩くことが一番の健康維持方法である。
- ・ 大和市の歩行者専用道路は、高齢者にとってはいい道で、安心して歩ける。
- ・ 高齢者福祉には、こういう道をきちんと整備することが大事である。

- ・一つ要望として、歳を取るにつれて丸まってくる背筋を伸ばしたいので、ベンチに背もたれを作してほしい。
- ・市役所の「だれでも広場」をよく使っているが、イオン寄りの箇所は木が茂っていて、じめじめしたような感じであり、あそこをもっと明るくして、高齢者がそこで遊べるような施設を作してほしい。
- ・リラの丘公園でいつもタバコを吸っている若者がおり、注意したら、喫煙禁止と書いていないと言われ、道路が喫煙禁止で、たくさん子ども達が使うので、喫煙してよいわけがないと言っても聞かない。
- ・公園所管課に問い合わせたら、喫煙できないとのことで、看板を立ててほしいと言ったら、すぐ看板を立ててくれた。
- ・これだけすばやく対処してくれたのは、大和市に住んでいて初めてだったので、感激した。
- ・職員が少なくなっているというのは致命的だ。
- ・元気な高齢者は結構いる。
- ・人間は人との関わりを求めており、そういう人達をもっと使って、市民サービスをしてほしい。

【市長】

- ・最初は「何でもやる課」を作ろうと思っていたが、必要ないほど職員がすぐ動いてくれており、お褒めの言葉を頂いて嬉しい。
- ・ベンチや健康遊具が、各公園に出来ており、皆さんが体を動かして、少しでも健康につながればと思っている。
- ・ベンチは、背もたれがあると飲酒され、ずっと居てしまうかたもいるので、背もたれを外して座るだけにしたりしているが、全部なくすのではなく、状況を見ながら配置していきたいと思っている。
- ・市役所は計画的な植樹ができていなかったため、落葉樹が多く、どんどん大きくなって、秋になると、市立病院側の道路に葉っぱが大量に落ち、排水路に詰まったりしている。
- ・市役所の緑は管理しなければならない。
- ・手を入れて心地よくできるよう、少しずつ市民に喜ばれる形にしていく。

【意見】

- ・泉の森は市の森であり、もっと市民のために活用できたらと思っており、森を通して健康、地域経済、交流、観光が循環するようなまちづくりを思い描いている。
- ・泉の森自体が、市で整備し20年から30年経っている。「しらかしのいえ」など老朽化が進んでいて、そろそろ手を入れなければならない時期と感じている。
- ・泉の森が大和市のランドマーク的な存在になればよいと考えており、拠点ができることにより、ウォーキングで健康を向上させたり、地域活性化として、マルシェのような、農家さんが地産地消できるようなことだったり、災害時

に水源を活かしたり、観光として森の中にカフェを作り皆がつどえるような形だったり、イベントなどもして、他市からも人がつどえるような拠点となったらよいと考えている。

- ・ 催し物も駅周辺ではやっているが、郊外型のイベントというのを活用して、森自体を活性化させて、森に来ていただき、みんなで癒されてもらって、ウォーキングで健康増進という形でいろいろと考えた。

【市長】

- ・ 泉の森はもっと自然体験できる形にしていきたい。
- ・ 子ども達に自然を体験させてあげたい。
- ・ 現在、危険も伴うため、教育で中々自然体験をさせてあげられない。
- ・ 自然体験は知識がしっかりとないと、危険が伴う。
- ・ 何が危険なことかをしっかり教えれば、自然は最大の恩恵を与えてくれる。
- ・ 自然体験は大事であると考えており、常に快適な場所にいるのではなく、自分の考えでは及ばない不快感、ストレスを乗り越える力、我慢することを身に付けてほしい。

【意見】

- ・ ハンディキャップのあるかたや子ども達のスポーツの場として、月に数回だが、ゆとりの森でフットサル、スポーツセンターでバスケットボールをしたりする活動をしているかたがいて、ぜひ皆に知っていただきたい。
- ・ 学校の部活動では付き添いの人がいないと危なかったりする一方、親がずっと付き添っているのは、他の子たちから見てどうなのかという葛藤がある中、こういう活動を立ち上げ、運営されているかたがいるので、市長にもぜひ見ていただきたい。
- ・ この活動をもっと広めたいと思い、今日は参加した。
- ・ もう1つ、小学生の子どもが、在籍校で民間の学童に入っているが、共働き世帯が増えており、1年生100人くらいのうち、40人が入った。
- ・ 所属学童は一軒家であり、3年生などが押し出されてやめるという状況である。
- ・ 夏休みはいっぱいになるので、放課後子どもひろばに行ってくださいと言われる。
- ・ 運営されているかたが悪いわけではなく、本当にぎゅうぎゅうなのである。
- ・ プレハブでもよいので、小学校の空いているスペースに市の学童を作るなどの手立てがないか、一人で帰らせるには心配な年頃であるし、検討いただきたい。
- ・ 最後に、グループホームではどうしても虐待はある。職員のパーソナリティもあるが、現在、70代が90代を介護しているような状況である。
- ・ 低賃金で若い人は入ってこないし、正社員は雇わない。
- ・ 人がいないので、少し虐待かなと思っても上司に中々言えない。
- ・ こちらから人生100年推進課に連絡をすれば来てくれるが、そういうシス

テムを知らずに、虐待かどうか悩んでもやもやしたまま終わるケースも多い。例えば悩んでいたらここに相談してくださいというカードを、介護をしている人達に配るなどのお知らせをしてほしい。

- ・ 本日皆さんの話を聞き、元気なシルバー世代のかたがシルバーバンクのような形で登録をして、例えば、障がいを持つ子どもの活動に付き添いをしてくださるなど、こちらから相談したら派遣してもらえるようなシステムがあるとありがたいと思った。

【市長】

- ・ スポーツには力を入れており、子ども達に環境を作っていきたい。
- ・ エンジョイスポーツなどにも来ていただいて相談していただき、環境を作れたらよいと思う。
- ・ 子ども達には体を動かすことが楽しいとなってもらいたい。
- ・ 歳を取ると生活習慣病が立ちはだかるが、子どもの頃から体を動かすことが好きであると、体を動かしやすい。
- ・ また、やっていたことが将来どこかで関わりとして、人と人とのつながりとなる。
- ・ お話のあったシルバー世代の活用も、もしそのかたがたが子ども達とつながることによって、自身の行動により人から感謝される、それで幸せを実感することができれば、いい社会だなと思う。
- ・ 大和市がみんなで子どもを地域で育てる形に、高齢者もつながる社会にしていきたい。
- ・ 介護は難しく、それが虐待なのかそうでないのかで悩んでいる家族はいると思っており、ご指摘の内容は所管課につなげていきたい。

【意見】

- ・ 市役所の職員は、私たち高齢者が分からなくてうろうろしていると、すぐに駆け寄ってきてくれて、いろいろなことを聞いてくれて、ありがたいと思っている。
- ・ ゆとりの森は明るくて空も見えてアップダウンがあって、散歩に丁度よい。
- ・ 残念なことに駐車場が有料になったので、時間を見ながら散歩している。
- ・ 大和市は保育園の待機児童がゼロになっているが、いろいろなところに小さな保育園がある。
- ・ 保育園は市の運営が多いと思うが、規模が小さくても作れるものなのか。
- ・ 運動場がない園が多く、朝、スタッフが園児を運動できるところに連れて行くのを見る。
- ・ そのことについて疑問に思っている。
- ・ 園庭のない保育園は、大きな公園の近くに作ればよいのではないか。

【市長】

- ・ ゆとりの森は一時、関東で一番に選ばれた公園であり、遊具やスポーツ広場もあり、綾瀬市との境に作られていたフェンスも取り除いた。

- ・ これからも喜ばれる場所にしていきたい。
- ・ 保育園は、公設は4カ所で、あとは県が認可した認可保育園である。
- ・ 保育園は園庭がなくても認可を受けて開設することができて、近くの公園に行くという状況が生じている。
- ・ これは法令にのっとってやっていることではある。
- ・ 保育園では子どもを遊ばせるため公園に行くが、近隣からクレームを受けることもある。
- ・ 大きな公園の近くに開設できるとよいが、保育園はいろいろなところがあり、安全に歩けるところでは近くの公園となる。
- ・ 子どもは宝だと思っているが、いろいろな考え方もある中、子どもにも高齢者にも優しい社会、皆が助け合い支え合う社会にしていきたい。